広報ぬまた
Numata 11
2022.11.24
Vol.665

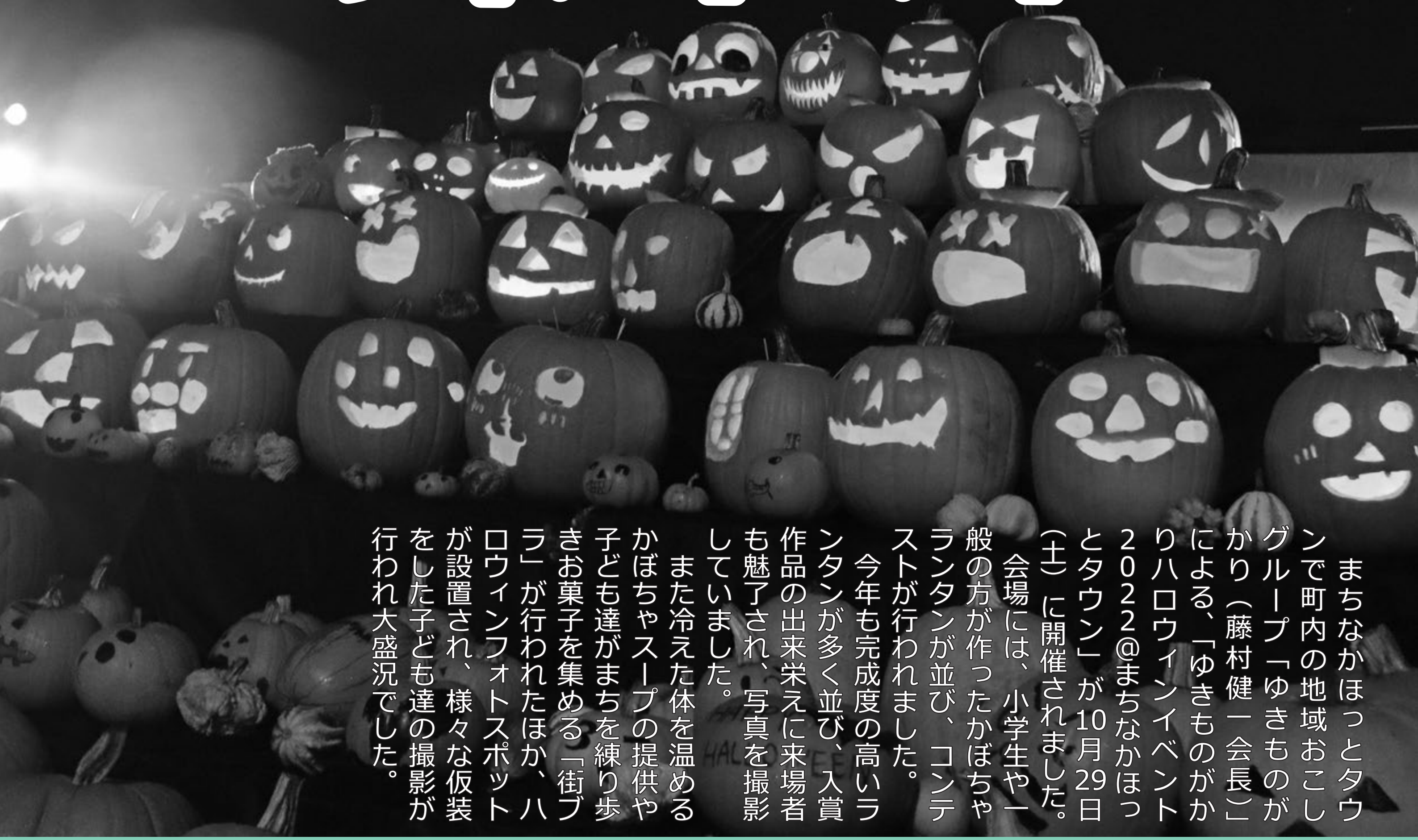
たくさんの「かぼちゃ」が展示されました

今月の主な内容

★ハロウィンイベント・・・・2
★明日萌フォトコンテスト・・4
★子ども議会・・・・・・・・・6
★まちレポ・・・・・・・・・8
★町民芸術祭・・・・・・・・16
★沼田警察庁舎から・・・・・17
★沼田消防から（消報）・・・18
★生涯学習ゆめっくる・・・・19
★図書館バックヤード・・・・20
★ふれあいインフォ・・・・・21
★まちの話題と人の動き・・・22

ＪＲに乗り続け隊サポーターを募集しています！
ＪＲ留萌本線を中心に利用促進活動や関連イベント等の情報を発信しています。
■お問合せ　産業創出課　☎３５－２１５５

ゆきものがかり ハロウィンイベント2022



まちなかほっとタウンで町内の地域おこしグループ「ゆきものがかり（藤村健一会長）」による、「ゆきものがかりハロウィンイベント2022@まちなかほっとタウン」が10月29日（土）に開催されました。

会場には、小学生や一般の方が作ったかぼちゃランタンが並び、コンテストが行われました。

今年も完成度の高いランタンが多く並び、入賞作品の出来栄えに来場者も魅了され、写真を撮影していました。

また冷えた体を温めるかぼちゃスープの提供や子ども達がまちを練り歩きお菓子を集める「街ブラ」が行われたほか、ハロウィンフォトスポットが設置され、様々な仮装をした子ども達の撮影が行われ大盛況でした。

小学生がジャック・オー・ランタン作り

ハロウィンイベントを前に、沼田小学校の４年生から６年生が３日間に分けて、地域おこしグループ「ゆきものがかり」のメンバー指導の下、ハロウィン用のかぼちゃでジャック・オー・ランタン作りを行いました。

のこぎりを上手に使い、口や目など、下絵通りにくり抜いていき、自分だけのジャック・オー・ランタンを作り上げました。

▲６年生

▲５年生

▲４年生

HALLOWEEN

第24回明日萌の里フォトコンテスト入賞作品

最優秀賞 勝利の叫び（花岡　勝美　様 / 江別市）

優秀賞

みんなが主役（山守　陽一　様 / 旭川市）

萌の丘の春（増井　道英　様 / 苫小牧市）

ＪＲ部門　星たちが見守る真布駅 最終便
（敦賀　善敬　様 / 留萌市）

◆奨 励 賞◆

「春待つ沼田の地」龍川　悠平　様（留萌町）
「いざ、出陣！」小田嶋　清幸　様（苫小牧市）
「秋彩の萌の丘」得能　邦子　様（深川市）
「萌の丘の静かな夜」神保　吉数　様（新ひだか町）
「星空への訪問者」田澤　康史　様（奈井江町）
「米どころを走る」能登　喬也　様（札幌市）
「渡り鳥北へ」木村　美紀枝　様（深川市）
「花に囲まれて」鈴木　　徹　様（湧別町）
「光、あふれる」平澤　勇斗　様（美瑛町）
「照らす朝陽に春の気配」原　　聡彦　様（札幌市）

入選

祭りの担い手
（小田嶋　清幸　様 / 苫小牧市）

宵蛍（龍川　悠平　様 / 留萌市）

夜高太鼓（花岡　勝美　様 / 江別市）

ＪＲ部門　明日萌に雪深々と
（木村　美紀枝　様 / 深川市）

秋は大忙し（畑部　琴美　様 / 岐阜県安八町）

日の出とホロピリ湖（山田　勝稔　様 / 砂川市）

ＪＲ部門　彩りの秋（池端　清美　様 / 留萌市）

審査員講評〔抜粋〕

「明日萌の里フォトコンテスト」受賞者の皆様、大変おめでとうございます。

今回で２４回目の開催となった当フォトコンテストですが、今年は３年ぶりに夜高あんどん祭りが開催され活況を呈し、審査用テーブルの色は赤く染まり文字通り沼田町らしい審査会場となりとても嬉しく思いました。応募点数も昨年を上回り、祭りの写真を中心に多様な作品のエントリーがありました。

審査時に少し気になったことは、近年のデジタルカメラを使用すると、以前は至難の業だった被写体も容易に撮影できるようになり、特に星の撮影などは顕著です。最近のコンテストでは、天の川や比較明合成を利用した、いわゆるぐるぐると呼ばれる星景の作品を多く見かけます。同じ星景でも視点を変えた独自的な発想が必要な時期のような気がしました。

今回、最優秀賞に選ばれた花岡勝美さんの作品「勝利の叫び」は、山車を担ぐ大勢の人々やそれに登っている人など、スケール感が伝わってきますし、相手の山車に乗り上がっている様子がとても動きがあって迫力が出ています。写真は一瞬を捉えるものなので、祭りの動きや迫力を伝えるのは難しいですが、良く表現されていると思いました。

優秀賞の山守陽一さんの作品「みんなが主役」は、山車をモティーフにした作品ではなく、太鼓を叩く子供達を主題にしています。バチを持って大きく手を上げている様子を、実に可愛らしく表現しています。背景に山車をぼかして入れているところや、ぬまたと書いたはっぴも良いですね。

同じく優秀賞の増井道英さんの作品「萌の丘の春」は、春をテーマにした風景写真です。咲き始めたエゾヤマザクラと沼田町らしい田畑が広がり、背景には残雪の山々を配しています。長かった冬からの開放感が伝わってきて、春の喜びを謳歌しているような、爽やかな作品に仕上がっていると思います。

他に入選された５作品、また奨励賞１０作品、あるいは鉄道部門も秀作揃いでした。次回はいよいよ２５回目のフォトコンテストとなります。更に素晴らしい力作をご期待申し上げます。

２０２２年１０月２７日

「明日萌の里フォトコンテスト」審査員代表　写真家　菊地　晴夫

町長に直接質問しました
子ども議会

授業の中で学んでいた町議会について、実際の町議会議場で町長に質問をぶつける「子ども議会」が、11月2日（水）役場3階議場で行われました。中学3年生は、実際の町議会のように調べてきた資料を町長に提示し、町長は丁寧に回答していました。

■沼田町の人口問題について

矢野　椿　議員

沼田町では、沢山の支援事業や取り組みを行っていると思うのですが、その具体的な内容が書かれているパンフレットを他の町などに設置してみるのはどうでしょうか。

町長回答

沼田町の知名度は徐々に上がってきていると思います。知名度があがる一番の要素は、住んでいる町民のみなさんが、このまちに誇りを持ち、様々なところで沼田町をＰＲしてくれていることです。

進学などで町を離れることもあるかもしれませんが、いつか、この町に戻ってきてまちづくりに協力してもらいたいと願っています。

ご質問のパンフレットですが、近くは深川駅、札幌駅、東京駅八重洲口の「移住交流ガーデン」などに常設しています。ただ、最近ではパンフレットの紙媒体以上に、ホームページなどのＷＥＢ発信・ＳＮＳによる発信も効果があると考えています。より良いＰＲの仕方などありましたら　是非アイデアをお寄せください。

■不足する施設について

横山広稀　議員

町民体育館や農村球場は、町外の小学生や中学生の中体連や公式戦などの大きな大会などで利用するので、修復や整備をして使いやすくしてほしいです。

町長回答

町民体育館も中学校体育館も建設されて約50年が経過しています。

2つの体育館が同じタイミングで整備しなければならない時期となっており、それぞれの体育館を別々に整備するには多額の建設費がかかることから、現在2つある体育館を1つにすることができないか検討しているところです。

また、農村公園野球場につきましては、利用されている皆さんからの要望や施設の不具合を把握し、必要となる補修工事や修繕を実施しています。

■福祉について

石黒日菜　議員

現在、各地域で少子高齢化が進行されていますが、沼田町ではどのような対策を行っているのですか？

町長回答

現在、「少子高齢化」が全国の多くの地域において進んでおりこれは沼田町だけでなく、日本全体で問題となっています。

沼田町では、少子化対策として

「子育て支援の充実」を目標に掲げて、乳幼児から高校生までの医療費無料や認定こども園の保育料を無料にするなど、「安心して子育てができる」と思っていただけるような取り組みを行っています。

高齢化についても、少子化と同じく、「いつまでも幸せに暮らせるまちづくり」というものを実現するため、「高齢者の健康づくり・医療・介護サービス」など、様々な福祉事業を行っています。

また、今後は「介護職員の確保」というものが大きな問題になってきます。介護職員の負担軽減を図るために施設内のICT化を進めたり、「若い方に関心を持ってもらい、介護という仕事を知っていただく」ことが重要だと考えています。

■沼田町の農業について

長井栞奈　議員

生産の目安を決めると農家の方の収入が低下する場合があります。農家の収入の低下を抑えるために町では対策をしていますか？

町長回答

収入低下・所得の確保のための取り組みとしては、沼田町のブランド米である「雪中米」を多くの人に食べてもらえるようPR活動を展開中です。

また、花などの高収益作物の栽培を支援するためビニールハウス整備への支援や、農業に雇用環境整備等を取り入れる農業法人設立に対する支援も実施しています。

是非、皆さんにも「美味しい沼田のお米（雪中米）」をたくさん食べて頂きたいと思いますし、町の主力産業である農業が更に活性化するようご協力をお願いいたします。

■沼田町の商業について

多田悠朔　議員

観光客を増やして沼田町をもっと大きい街にしてほしいです。

町長回答

沼田町の観光客は、コロナ前で年間約15万人いました。この2年間はコロナ禍で観光客が激減していましたが、今年は、「夜高あんどん祭り」に6万3千人、「ほたる祭」に1万9千人が来てくれました。

また、近年は関係人口の創出にも力を入れています。関係人口は、沼田町の魅力を知っていただき、「沼田のファン」になってもらうことで、沼田町の地域づくりに多様に関わってもらう人のことを言います。

皆さんも、将来、大人となり、人生の中でどこに住んでいても沼田町の応援団としてご協力をいただけるようお願いします。

■沼田中学校に必要なもの

松尾泰希　議員

武道場の雨漏り、体育館や各教室の冷房、暖房設備は今後生活していくうえで不便になる場合があるので直してほしいです。

町長回答

道場の雨漏りについては、早急に対応いたします。

冷房設備ですが、体育館までの設置は難しいかもしれませんが、教室については設置に向けて費用の調査をしているところです。

また、体育館の暖房設備ですが、老朽化が著しいことから、町民体育館との合築を含めて整備を考えていきたいと思います。それまでの間は、実態を確認しながらなるべく不便のないように対応してまいります。

まちレポ Town Topics まちのできごとレポート

10/6 交通安全を呼びかけました

ライオンズクラブ交通安全旗の波運動

沼田ライオンズクラブ（生沼篤司会長）と沼田自動車学校（宮脇浩三校長）、コーミ北のほたるファクトリー㈱（川澄亮太社長）、深川警察署沼田警察庁舎（有田敬所長）が１０月６日（木）合同で交通安全街頭啓発活動を沼田小学校前の国道 275 号線で行いました。

参加した 32 名は「スピードダウン」や「シートベルト着用」と書かれた旗を持ち、車へ呼びかけたほか、通行する車にトマトジュースを配布し、交通安全を呼びかけました。

10/6 興味のある職業を体験しました

中学２年生職業体験

中学生のキャリア教育を目的とした職業体験が、町内の事業所 11 ヶ所の協力で行われ、中学２年生の 25 名は、ほろしん温泉ほたる館やＤ a* マルシェなどの各事業所で職場体験を行いました。

Ｄ a* マルシェでは、栗中徠君、鵜野尋斗君の２人が、実際に商品をバックヤードから運ぶ体験をし、商品棚へ陳列していきました。体験した栗中徠君は「商品の賞味期限など間違えてしまったら大変なことなのでとても重要な仕事だと思った。」と話していました。

10/9 残り少ない秋を楽しみました

ほろしんの森を楽しみました

秋晴れの中、ほろしん温泉ほたる館付近のほろしんの森で、１０月９日（日）「ほろしんの森マルシェ」と「森のようちえん」が開催されました。

マルシェでは地元の野菜が販売され、販売者から一つ一つの野菜の説明を受けながら多くの方が沼田町産の野菜を購入していました。また、近隣の地域おこし協力隊らによるミニコンサートも開かれ、森の中で聞くメゾソプラノシンガーとシンセサイザーの演奏によるスタジオジブリの音楽が心を和ませました。

町内から来た 50 代男性は「自然の中で聞く音楽は、とても心地よいです」と、残り少ない秋を楽しんでいました。

10/11 農業体験、最後の行程
小学５年生脱穀・籾摺り体験

小学５年生（14 名）が５月に田植えをし、稲刈りとはさがけをした稲の脱穀・籾摺り体験を１０月１１日（火）行いました。

児童達は自分達で刈り取りを行った稲を手に取り、順番に脱穀作業に取り掛かりました。初めて体験した児童は職員に手を添えてもらいながら、慎重に作業を進め、籾を落としていました。

脱穀後は自分で脱穀した籾を籾摺り機に入れる作業を行い、玄米に仕上げました。

玄米は、精米し２キロずつに袋詰めされ、５年生に配られました。

10/12 これからも笑顔が絶えない会に
沼田長生クラブ創立６０周年記念式典

町内に住む６５歳以上の方々で構成されている沼田長生クラブ（菅沼繁会長）の創立６０周年記念式典が、１０月１２日（水）健康福祉総合センターふれあいで執り行われました。

開会にあたり、菅沼会長は「人生１００年時代と言われており、健康で心豊かに長年の経験を活かして過ごして欲しいです。これからも笑いの絶えない会に発展させていきましょう。」と挨拶し、横山町長は、「６０周年を節目に、さらに地域の高齢者社会の担い手として活躍することを願っています。」と話されました。

式典では、長生クラブでの長年の功績を讃え１９名へ感謝状が贈呈されました。

10/19 エコキャップをリサイクル
小学生エコキャップ感謝状贈呈

沼田小学校（中川浩之校長）の児童会活動で、エコキャップを集め、リサイクル推進活動に多大な貢献を称して、特定非営利活動法人エコキャップ推進協会（矢部慎二理事長）から感謝状が１０月１９日（水）授与されました。

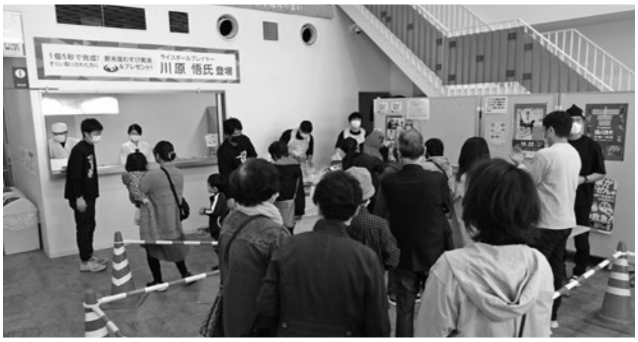
各学年４kg を目標に集められたエコキャップは 36kg もの量となり、目標を大幅に越えるエコキャップを集めることができ、前期児童会長の林ゆずなさんは、「全校児童みなさんの協力のおかげでたくさん集めることができて良かったです。」と話されました。

10/22 ３会場で同時開催
沼田町にぎわい活性化イベント２０２２

沼田町商工会、沼田町社会福祉協議会、沼田町中山間地域等直接支払制度推進協議会、沼田町の共催による、沼田町にぎわい活性化イベント2022が１０月２２日（土）、まちなかほっとタウン、暮らしの安心センターで開催されました。

まちなかほっとタウン会場では、射的や輪投げなどのこども縁日や新米すくい取り、ライスボールプレイヤーの川原悟氏による新米塩むすび実演＆プレゼントなどが行われ、暮らしの安心センター会場では、みんなの食堂やピアノコンサート、カネカ還元型コエンザイムＱ１０講演会の開催など、どの会場も大盛況でした。

また、沼田町商工会商業振興委員会主催の「まちなか賑わい夕市」が本通３丁目特設会場にて同時開催され、町内各商店による野菜や衣料品などの販売、お買い物抽選会などが行われ、来場した方々は、たくさんの買い物袋と景品を持ち帰っていました。

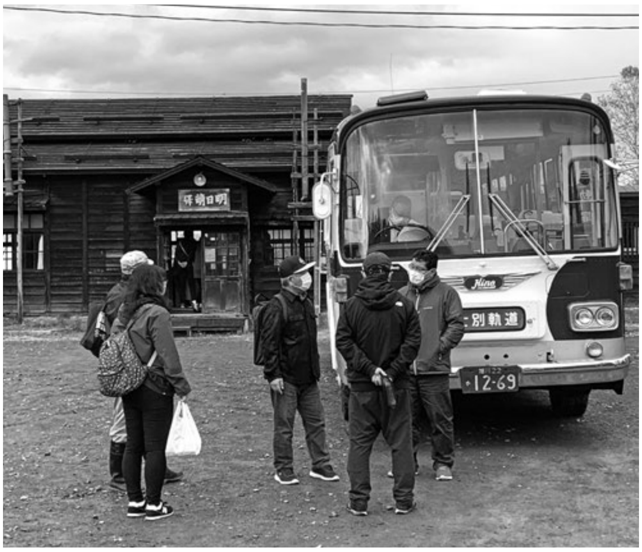


10/23 モノコックバスが登場
明日萌駅秋フェスタ

鉄道ショップ、合同会社ぽっぽや（旭川市）が主催する「明日萌駅秋フェスタ」が、１０月２３日（日）明日萌駅で開催されました。

明日萌駅の一般公開が行われたほか、士別軌道のモノコックバスが展示され、撮影会や体験乗車などが行われました。

札幌市から来た30代男性は、「とても楽しみにしていたイベントで、石狩沼田駅から列車に乗り留萌まで行く予定です。これからもイベントがあれば参加したい」と話し、明日萌駅を撮影したり、モノコックバスに乗車するなどイベントを満喫していました。



10/25 鈴木直道知事が沼田町を視察
なおみちカフェ

地域の創意工夫ある取り組みを知事が直接聞き、広く発信する「なおみちカフェ」が１０月２５日（火）行われました。

初めに鈴木直道知事は、夜高会館を訪れ、吉住淳男夜高あんどん実行委員長と渡部稔夜高あんどん保存会長から夜高あんどん祭りの説明を受け、点灯された大型あんどんの大きさに驚かれ、その後健康福祉総合センターで行われた懇談の場で、鈴木知事は、トマトジュースを飲み、「美味しい！」と大絶賛し、また、あんどんがぶつかりあう映像を見て「あんどんの魅力の一端を知れて良かったです。このお祭りの伝統と歴史ある財産を道民に知ってもらえるよう支援していきたいです。」と話されました。

10/26 この経験を大切に
介護の学び教室

介護の実習を通して、理解を深める「介護の学び教室」が、これまで町の福祉施設などに助言をいただいている介護アドバイザーの青山幸広氏らを講師に招き、中学３年生を対象に行われました。

青山氏の講義のあとの実践では、介護の必要な方を力をあまり使わずに椅子に座らせるなどの技術を習得し、生徒は介護の重要性を学びました。

また、栗山町立北海道介護福祉学校の悪七校長からの講話では「介護職になるための選択肢」などの話を熱心に聞いていました。

10/27 貴重な農業体験
元気村夢の農村塾農業体験

北空知の市町で構成される元気村・夢の農村塾（村上はるみ塾長）が毎年実施している、農業体験の受け入れが今年も行われ、今年最後となる３回目の受け入れでは京都府の高校生が２４０名、北空知を訪れ、沼田町では２３名の生徒を受け入れました。

受入先の一つである鶴山氏の圃場では、実際の農作業で使われる機械などの見学から始まり、その後、花卉の出荷体験を行いました。初めて乗るコンバインやトラックに興味津々で生徒たちは、互いに記念撮影を行い、良い思い出になりました。

11/1 最先端のリモートセンシングを体験
VTOL 飛行機型ドローン実演デモ

　沼田町スマート農業研究会（山岡禎弘会長）が主催する、VLOT 飛行機型ドローンによるリモートセンシングのデモ運転が行われました。

　この実演は、８月２５日に行われたロボットトラクター実証試験に続き行われ、今回も桝田浩孝氏（北竜２）の圃場で、最大時速 100km で事前に決められたルートを自動飛行するドローンを飛ばし、農作物の生育状況調査を行いました。

　強風の中で行われた実証試験でしたが、安定した飛行で約７ha を周回しました。

11/3 交通事故のない町を目指し
令和４年度交通安全町民大会

　沼田町、沼田町交通安全運動推進委員会、沼田町交通安全協会が主催する交通安全町民大会が１１月３日（木）町民会館で３年ぶりに開催されました。

　大会では、こども園や小学生を対象にした交通安全標語・ポスターの表彰が行われ、入賞者には町交通安全協会長の坂本久和氏より賞状が手渡されました。

　表彰式終了後、深川警察署の上村大地交通課長から交通事故の危険性などの講演があり、その後、小泉英之商工会青年部長による交通安全宣言が行われ、交通事故のない町を目指して、交通安全に対する意識を参加者で再確認しました。

11/6 沼田の文化財に触れる
文化財見学会

　教育委員会が主催する沼田町文化財見学会が１１月６日（日）行われました。

　この見学会は、平成３０年を最後に新型コロナウイルス感染症の影響で中止になっており、４年振りの開催となりました。

　本願寺駅逓や永徳寺にある十一面薬師観音菩薩像などを学芸員が解説しながら見学し、参加された方は「普段見ることができない文化財を見ることができて貴重な経験になった。」と話されていました。

11/6

伝統芸能で地域に元気と笑顔を

民族歌舞団花こま沼田公演

日本の伝統芸能を披露し、日本国内外で活躍している「民族歌舞団花こま」（兵庫県）の公演が１１月６日（日）町民会館で行われました

今回は空知管内で 11 公演行われ、沼田町で迎えた千秋楽には約 100 名が集まり、獅子舞を使った寿獅子や会場の子ども達と行った南京玉すだれや実際に餅をつきながら行われた餅つきばやしなどで会場は一体となり、笑顔に包まれました。

町内の 60 代男性は「笛の力強い音に圧倒された。こんなに楽しい公演を見ることができて良かった。」と大満足の様子でした。

体験

みんなで力を合わせて共同生活

沼田っ子の夢応援（合宿通学）

小学５年生１１名が参加した「沼田っ子の夢応援事業」（合宿通学）が１０月１９日（水）から２２日（土）の間、宿泊交流センター「夢未来」で行われました。

この事業は、子ども達が施設に泊まりながら、友達との交流を深めたり、沼田町を深く知って地元愛を育む事をねらいとしています。

２日目の地域の方の講話では、ほろしん温泉ほたる館の矢部昌弘さんから、ほろしん温泉の歴史や昭和炭鉱についての講話があり、子どもたちは普段行っているほろしん温泉の歴史や、昭和炭鉱跡の施設の写真を見て興味津々でした。

中学校卓球部北海道選手権大会出場！

沼田中学校卓球部の清野瑛斗君（３年生）と中澤杏音さん（１年生）が１０月１４日（金）から行われた、北海道卓球選手権大会兼全日本予選会に出場しました。

清野瑛斗君は、高校２年生以下が出場するジュニアと一般の部、中澤杏音さんは、ジュニアの部に出場し、惜しくも１回戦で敗退してしまいましたが、「全道大会出場という経験を活かして、今後は全道大会での１勝を目指して、日頃の練習に打込んでいきます。」と話されていました。

沼田小学校学習発表会が開催されました！

１０月１５日（土）沼田小学校の学習発表会が、昨年と同様、新型コロナウイルスの感染予防対策として、発表を低・中・高学年の３ブロックに分けて開催されました。

今年は「一致団結！本気の沼田っ子魂で最高の感動を巻き起こせ」のテーマのもと、１年生から６年生まで全児童が練習してきた成果を十分に発揮し、一致団結して歌や踊り、劇などを披露しました。

最後の６年生の劇が終わると、６年生から「仲間と練習した発表が僕たちの宝物です。見ていただいた方々の宝物になれば嬉しいです。」と全員で挨拶しました。

１年生 - 朝学習から４時間目までそれぞれの授業をダンスや算数の問題を解いたりするなど楽しく表現しました。

２年生 - ダンスや自分の特技を披露し会場を盛り上げました。児童たちが楽しんでる様子が会場に伝わっていました。

３年生 - 日本全国のお祭りの踊りを披露しました。息ぴったりの北海道の YOSAKOI は圧巻でした。

４年生 - 環境破壊などで地球が魔界に滅ぼされてしまうのを子供達が力を合わせ阻止するという音楽劇でしたが歌と演技の切替が見事でした。

５年生 - 流行りの音楽をランキング形式で発表しダンスを披露しました。ダブルダッチでは難易度の高い技を決め、大盛り上がりでした。

６年生 - 様々な架空の国が宝物を披露し、本当の宝物とはなんなのかという劇でしたが、圧巻の演技力で会場を劇の世界観に引き込みました。

表彰 地方自治の振興発展に大きく貢献
故 横山忠男氏に旭日単光章を伝達

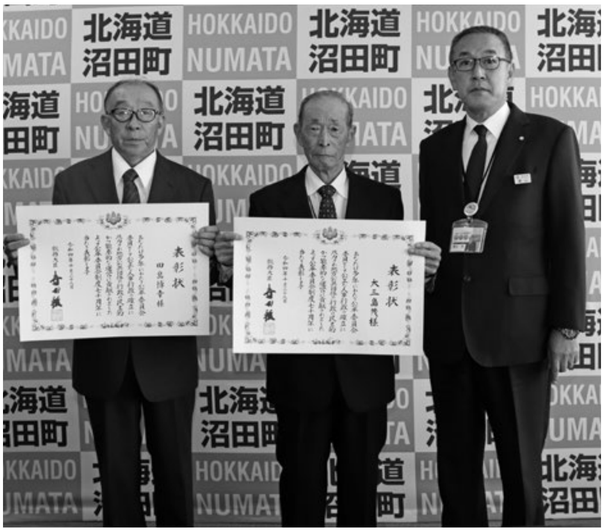
町議会議員を３期１２年務められ、地方自治の振興発展に大きく寄与された故 横山忠男氏に旭日単光章が、妻の花代さんへ伝達されました。

横山氏は沼田町議会議員の間、総務文教常任委員長や議会議員定数審査特別委員長を歴任されたほか、平成１９年から平成２３年までの４年間、監査委員として健全な行財政運営を心掛け、開かれた町政の執行に尽力されました。また、昭和６２年から平成１３年までの１４年間は農業委員会委員として、基幹産業である農業の生産力の発展や農業経営の合理化を図るなどに尽力された功績に対し受賞されたものです。

表彰 円滑な運営の貢献に表彰
公平委員が総務大臣から表彰

沼田町公平委員会の委員として、平成１９年３月から令和２年３月までの１３年間務められ、平成２７年からは委員長としてご活躍された大三島茂さん（旭町西）と平成２０年９月から委員として、また令和２年１２月からは委員長を務められている田島博幸さん（沼田４）の２名が、人事行政の円滑な運営に貢献した功績に対し、公平委員会制度７０周年に当たり総務大臣より表彰を受け横山町長より伝達されました。

横山町長は「公平委員会の業務に長きにわたりご尽力いただき感謝しています。これからもご協力お願いします。」と感謝の意を述べました。



防災用組立式給水タンクを導入しました

災害が起こり、水を供給することができなくなった際の飲み水などを確保することを目的として、北空知水道企業団の構成１市４町で防災用組立式給水タンクを導入しました。

この給水タンクは組立式で、約１トンの水をためることができ２つの蛇口から水を出すことができます。

有事の際には、避難所などにこの給水タンクを設置し、避難者の飲み水の確保に備えます。

令和４年度 町民芸術祭

11月3日（木・祝）町民芸術祭（同実行委員会主催）の芸能発表が、新型コロナ感染症対策を実施した中で町民会館で行われました。

出演者は、緊張する中、日頃の練習の成果を発揮し、発表が終わると会場からは大きな拍手が起こりました。

また、「ゆめっくる」会場では、書道や写真など町民皆さんの作品が展示されました。

▲日本詩吟学院

▲八重樫音楽教室

▲沼田中学校吹奏楽部

▲飯田音楽教室

▲ウクレレサークル

▲沼田吹ガールズ

▲一般社団法人 N-link.

▲吟剣詩舞和翔流

▲ Petit ballet school Lana

▲沼田夜高太鼓

▲歌声サークル

深川警察署
沼田警察庁舎あんぜん広場 ☎35-3110

飲酒運転の根絶
乗るのなら　しっかりお酒と　ディスタンス

1　飲酒運転は悪質な犯罪！

飲酒運転は、悪質、危険な犯罪です。

飲酒は安全運転に必要な情報処理能力、注意力、判断能力を低下させ、運転に大きな影響を及ぼし、重大事故に繋がる危険性を高めます。

皆さん一人一人が「飲酒運転をしない、させない、許さない、そして見逃さない」ことを強く意識して、社会全体で飲酒運転を根絶する気運を醸成しましょう。

また、二日酔いでの運転も「飲酒運転」となりますので、飲酒した翌日に運転する場合は、身体にアルコールが残っていないかしっかり確認しましょう。

2　飲酒運転は、運転者以外も処罰の対象！

飲酒運転は、運転者だけではなく、運転者以外の人にも重い処罰があることを知っていますか。

車を運転する恐れのある人にお酒を提供したり、お酒を飲んでいる人に車を提供したり、飲酒運転の車に同乗した場合は、飲酒運転と同様に処罰の対象になります。

3「ハンドルキーパー運動」で飲酒運転を防止！

ハンドルキーパー運動とは、仲間と車で飲食店に行く場合、あらかじめお酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人が仲間を自宅まで送り届けることです。

お酒を提供するお店の方は、「お客さんが車で来店していないか」、「車で来店している場合は、ハンドルキーパーは誰なのか」を確認して、飲酒運転を防止しましょう。

4　飲酒運転情報の提供！

北海道警察では、悪質な飲酒運転を根絶するため、「飲酒運転ゼロボックス」によるタイムリーな飲酒運転の情報提供等を受け付けています。

また、飲酒運転根絶に向けたアイデアも受け付けておりますのでご利用ください。

犯罪の発生状況（令和４年１０月末現在）

町内における犯罪件数

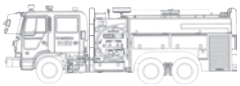
	侵入盗	非侵入盗	粗暴犯	わいせつ犯	その他	合計
令和 ４ 年	1	4	2	0	2	9
令和 ３ 年	0	1	0	0	1	2

交通事故の発生状況（令和４年１０月末現在）

町内における交通事故件数

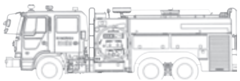
人身事故		物損事故	
令和 ４ 年	0	令和 ４ 年	３４
令和 ３ 年	1	令和 ３ 年	２８

詐欺電話が来たら、「＃９１１０」まで、ご相談ください。



消　報

深川地区消防組合深川消防署
沼田支署予防担当☎ 35-2050



除雪作業中の事故に注意しましょう！

毎年、屋根の雪下ろしなどの除雪作業中の事故が多く発生しております。北海道内の死傷者数（令和３年１１月～令和４年３月）は３３７人で、空知総合振興局管内では９３名の死傷者が発生するなど深刻な被害となっております。死亡事故の約９割は６５歳以上の高齢者による事故となっていることから、高齢者を中心とした安全対策を実施するため、以下の「雪下ろし安全１０箇条」を確認し事故を未然に防ぎましょう。

「雪下ろし安全１０箇条」

①命綱やヘルメットを着用し安全な装備で行う（最重要！）
②はしごは固定する
③作業は２人以上で行う
④足場の確認を行う
⑤雪下ろしの時は周りに雪を残す
⑥屋根から雪が落ちてこないか確認する
⑦除雪道具や安全対策用具の手入れ点検を行う
⑧除雪機の雪詰まりはエンジンを切ってから棒などで取り除く
⑨携帯電話を身につける
⑩無理はしない

上記ＱＲコードより詳細をご確認頂けます。
出典：国土交通省ウェブサイト

お子様の急な発熱やけがで困ったことはありませんか

近年、沼田町内における小児救急件数は増加傾向にあります。子どもは自分の症状を訴えることができないため、ご家族や周りの方がその対応に迷われることも多いと思います。
下記の緊急度の高い症状があった場合は、迷わずに「１１９番」通報をして救急車を要請して下さい。また、ウェブサイト「こどもの救急」で日頃より、病院受診の判断の目安をご確認頂けます。

【緊急度の高い症状があるときはすぐに 119 番！】

例）・くちびるの色が紫色
・頭を強くぶつけて出血が止まらない
・けいれんがとまらない
・けいれんが止まっても、意識が戻らない
・手足が硬直している

※詳細については救急車利用リーフレット（子供版）をご確認下さい

出典
消防庁ホームページ

【ウェブサイトこどもの救急って？】

■生後１ヵ月～６歳までのお子さんを対象に、夜間や休日などの診療時間外に病院を受診をするかどうか、判断の目安を提供しております。

リンクサイト
公益財団法人日本小児科学会

沼田町
防火標語

住宅用火災警報器は 10 年を目安に点検・交換しましょう。

『声かけよう　みんなで確認　防火の輪』

冬は「映画」で生涯学習！

生涯学習 ゆめっくる

　以前生涯学習についてご紹介したことがありますが、「学習」と言っても、机に向かって行うものに限った話ではありません。
今回は身近な生涯学習手段である「映画」についてご紹介します。

1．全てのジャンルの映画が学びにつながる

　なにも文芸作品や歴史作品だけが「生涯学習」の手段ではありません。
　映画を通じて、他の国や文化を学ぶこともできますし、他の人の考えを知ることもできます。また最新の技術に触れることも可能です。また日本語以外の言語や音楽に接する機会にもなりえます。

2．多様化する鑑賞形態

　昔は映画を観るには劇場に行くしかありませんでした。しかし、今はレンタル DVD やブルーレイ、映像配信を行っているサイトがいくつもあり、テレビやスマホ、タブレットでいつでも気軽に映画を楽しむことが可能になりました。（レンタル VHS なんて知らない人もいるでしょうね）

知ればもっと楽しめる！映画の専門用語

■リメイク　過去の作品を作り直した作品、基本的にストーリーは元の映画と同じ。
（ちなみにリブートは世界観や設定を踏襲し、ストーリーは別の場合が多い。）

■スピンオフ　ある作品のわき役を主役にした作品。

■エンドロール／エンドクレジット
本編後についている出演者、製作に関わった人達や団体名の表示。
（最近はこの後にまだおまけ映像があることも・・・。）

■カメオ出演　有名人がノンクレジット（名前を出さずに）短時間出演すること。本物のスターにしか許されないことですね。

■オマージュ　別の作品の表現などを意識（模倣）した表現を行うこと。

■ＤＶＤ／ブルーレイ／配信スルー
劇場公開されずに直接販売等がされる作品。

■スリーディー（３Ｄ）
専用のメガネで飛び出すように見える技法。
（最近の３Ｄは前に飛び出すというより、奥行の演出に使用される。）

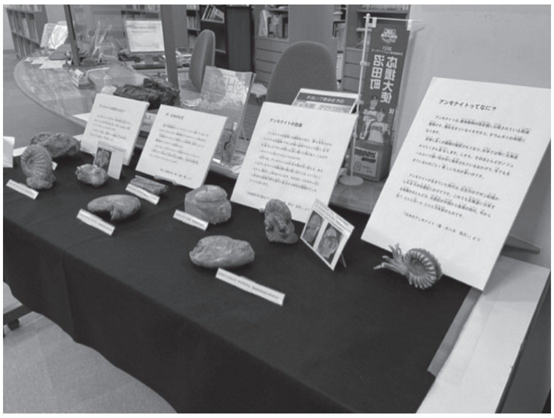
おうち時間が増えている今、ゆっくり映画を楽しむにはいい機会ですね。
図書館でもたくさんの DVD やビデオが見られますので、お気軽にお越しください。

お問い合わせ…沼田町教育委員会　（電話３５－２１３２）

○教育委員会「ブログ」随時更新中○　URL: https://blog.canpan.info/numakyoui/

図書館バックヤード

『秋の読書週間』



秋の読書週間という言葉を聞いたことはありませんか。秋の読書週間とは、終戦まもない１９４７年からつづく運動で、今では日本の国民的行事として定着しています。期間は毎年１０月２７日～１１月９日（文化の日を中心とした２週間）と決まっていて、この期間には書店や図書館などで色々な催しが開催されます。

沼田町図書館では今年の秋の読書週間事業として、『アンモナイトの世界展』（１０月２１日～１１月１４日まで）を開催し、化石館から借りたアンモナイト９点と図書館にある化石関連の本を展示しました。

アンモナイトというのは総称で、大きさや、殻の形の違いなどで種類も変わります。今回はそれぞれの特徴を見るだけでなく実際に触れて体験してもらえるように、触ってもよい化石を借りました。また化石関連の子ども向けの本から大人向けの本まで様々な本を用意し、会期中は多くの方に楽しんでもらう事ができました。

今回の読書週間事業で展示した化石の本以外にも図書館には化石関連の本はたくさんありますので、ぜひ図書館へ足を運んでみてください。

新刊図書

«一般書»

その本は	又吉　直樹
嘘つきジェンガ	辻村　深月
翼の翼	朝比奈あすか
競争の番人　２	新川　帆立
今日は、これをしました	群　ようこ
社会保障のトリセツ	山下　慎一
絶景北海道の鉄道	番匠　克久

«児童書»

ガリレオの事件簿　１	東野　圭吾
てぶ～くろ	ガタロー☆マン
いっぱいさんせーい！	宮西　達也
からっぽのにくまん	まつながもえ
タコとだいこん	伊佐　久美
麦畑のみはりばん	テリー・ファン

新刊図書これがおすすめ!!

『３分間サバイバル―有罪か無罪か？常識の死角―』
著者：栗生　こずえ

朝読におすすめの３分で読める新感覚ショートショート。謎解きとスリルが楽しめ、知識も身につきます。

今回のテーマは「法律」。なにげない行為にも、知らなかったでは済まされない常識の死角がある！？

思わず吹き出す奇妙な法律から、知っておいて損はない豆知識まで、バラエティ豊かな全５０編を収録。

図書館には、３分間サバイバルシリーズの本があります。ぜひ朝読にお役立てください。

家から図書館の本を検索しよう

図書館にある本をインターネットで検索できます。検索は、下記の URL か QR コードからどうぞ。
http://opac-numata.lib-wa.net/web_opac/simple_search.php

子どもの目の発達

◆子どもの視力は、幼児期に発達します。

子どもの視力は生後３か月で 0.05 程度ですが、１歳で 0.2、２歳で 0.4 と３歳頃までに急激に発達し、６歳頃に 1.0 程度の視力を持つようになります。

６歳頃までに正しく脳の視覚領域（物が見える機能）が発達しなければ、将来にわたって弱視（眼鏡等を使っても視力が出ない状態）になる可能性がありますが、幼児期に目の異常を発見し、早期に治療を開始することで、視力の獲得が期待できます。

◆子どもの「見えにくさ」は、周囲が気づくことは困難です。

子どもは徐々に視力を獲得するので、見えにくさを自覚できません。

子どもから保護者に伝えることも、保護者が気づくこともできません。

◆令和４年度より、３歳児健診で「屈折検査」を実施しています。

町では３歳児健診に合わせて、機械を使った「屈折検査」を導入しました。

これにより弱視につながる斜視および屈折異常（遠視、乱視、近視、不同視等）の可能性をスクリーニングできるようになりました

屈折検査とは
お子さまの目の状態を数秒で撮影し、特別な処置や痛みはありません。
目の奥の網膜に特殊な光を当てますが、目の機能に悪影響を及ぼすものではありません（眼科の屈折検査と同じです。）。

◆今年度は３歳～就学前の幼児約 50 名へ検査を実施し、必要な方には医療受診を勧めています。

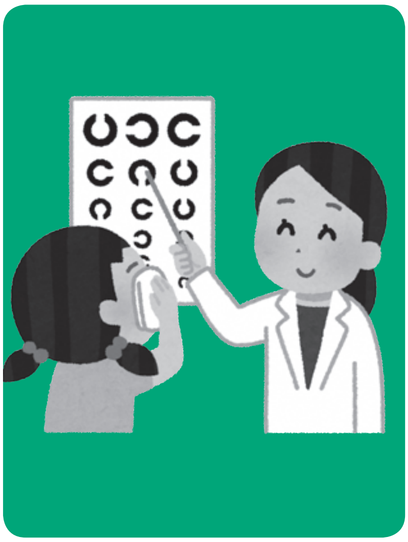
検査を受けた後も、お子さまの目の異常を発見した場合は、速やかに小児科または眼科を受診しましょう。

◆デジタルデバイスを使う時には

視力の成長する乳幼児期に長時間デジタルデバイスを視聴することで、近視の進行、ドライアイ、斜視の発症や悪化がみられる場合があります。強度近視になると網膜剥離や緑内障などを引き起こし失明する可能性があります。

世界保健機関（ＷＨＯ）では２歳未満はデジタルデバイスの視聴をさせないこと、２歳から４歳では１時間を超えないことを推奨しています。

こども健全な発育のために、デジタルデバイスを視聴する時間や内容を保護者が管理するようにしましょう。



◆お問合せ先　保健福祉課健康グループ　電話３５－２１２０

NUMATA 広報ぬまた11月号 第665号（令和4年11月24日発行）
※記事や写真の無断転載は固く禁じます。

国への困りごと相談

特設行政相談所を開設

「総務省行政相談週間」の10月17日（月）から23日（日）に合わせて、町民会館で特設行政相談所が10月21日（金）開かれました。

これは、国の仕事や行政サービス等についてのお困りごとやご相談等に、町の行政相談員が応じるものですが、この日は行政相談週間ということで、特別に役場各課の職員も出席して相談に当たりました。

今後も毎月町民会館で、月例行政相談所を開設し、行政相談員が皆さんのご相談に応じています。

ふるさとチョイスAWARD2022「チョイスルーキー部門」に沼田町がノミネート！

全国の地域からふるさと納税を通して地域への熱い思いを表彰する、ふるさとチョイスAWARD2022（株式会社トラストバンク）が10月22日（土）東京国際フォーラム（有楽町）で開催されました。

全国132件の応募があった中から沼田町が取り組む、ほたる館やゴルフ場でふるさと納税をして、その場で施設利用券などの返礼品を受け取ることができる「旅先ふるさと納税」とイベントなどでキャッシュカードを使用してふるさと納税をすることができる「キャッシュレス決済」が「チョイスルーキー部門」でノミネートされました。

人の動き

（令和4年10月31日現在）

人　口　2，903人（前月比　　1人）
男　性　1，386人（前月比　　2人）
女　性　1，517人（前月比　△　1人）
世帯数　1，453世帯（前月比　2世帯）

■総人口増減内訳
増加）転入：13人　出生：　1人
減少）転出：10人　死亡：　3人

交通事故死ゼロ

（令和4年10月31日現在）

3，768日継続中!!

移住定住情報公式サイト

沼田町の定住奨励制度や暮らしの情報が満載です。

ぬまわーくサポートデスク

沼田町では求職者と求人者をつなぐために、無料職業紹介所「ぬまわーくサポートデスク」を開設しています。

おくやみ

氏名	死亡月日	年齢	住所
田坂 ミサヲさん（女）	10月9日	89歳	高穂1
山田 ユリ子さん（女）	10月19日	94歳	北竜3
渡邊 清 さん（男）	11月2日	70歳	共成

■発行者　北海道雨竜郡沼田町長　横山 茂　■編集　総務財政課広報情報グループ
〒078-2202　北海道雨竜郡沼田町南1条3丁目6番53号
■TEL：0164-35-2111　■ホームページ：https://www.town.numata.hokkaido.jp/

この広報誌は再生紙と大豆インクを利用しています。